

ALMEC
CORPORATION

株式会社 アルメック

会社概要
Corporate Profile



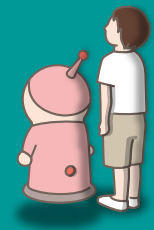
for Better Mobility and Sustainable Urban Life

よりよいモビリティ、持続可能な都市をめざして

mōbilitās

progressus

- 2021 株式会社アルメックに商号変更
設立50周年
マニラ、ハノイに現地法人設立
ジャカルタオフィス閉鎖
- 2011 JICA理事長賞受賞
両社合併、株式会社アルメックVPIに商号変更、本店移転(新宿区新宿)
- 2001 ウランバートルにオフィス開設
バリュープランニングインターナショナル(株)設立
ハノイ、ジャカルタにオフィス開設
- 1991 本店移転(目黒区青葉台)、マニラにオフィス開設
- 1981 JICAより元請け受注
大型民間開発計画元請受注
株式会社アルメックに商号変更
株式会社アレアと(株)メガプランニングは合併
- 1971 株式会社アレア海外業務本格参入
株式会社アレア目黒区東山に移転
株式会社アレア設立
株式会社メガプランニング設立



ALMEC Corporation was born in Tokyo in 1971 and has a more than half-century history of providing a wide range of consulting services in planning and designing cities and regions in Japan and in more than 40 countries.

ALMEC's professional expertise rests on three pillars, that is, comprehensive transportation planning, city and regional development planning, and environmental and social analyses and solutions.

Armed with theoretical and practical knowledge, as well as the local and global perspectives, honed by decades of practice, we stand proud of our achievements in supporting governments and private organizations in their quest for sustainable visions, effective policies, and practical measures for prevailing development issues as well as emerging threats to, and opportunities for, growth.

As we move towards another half century of service, we in ALMEC will keep rising to the challenges presented by new development issues. We are committed to helping communities, cities, and countries achieve their potential without sacrificing the future of the next generation.

わが国と国際社会の持続可能な未来のために

2020年から全世界に拡大した新型コロナウイルス感染症は、世界経済に深刻な影響を与えました。ICT技術が普及し、国内は超高齢化社会に突入する中で、人々の生活や意識、モビリティは大きく変化しています。都市は、より多様なライフスタイルに対応することが求められ、都市から地区へ、大量輸送から中小規模の公共交通、あるいは新たな技術を活用したモビリティサービスの導入等、きめ細やかな計画策定やサービスの提供が求められています。

アルメックはプランニング専門のコンサルティングファームとして、持続可能な社会の実現に向け、気持ちを新たに、自らの取組分野を再構築いたしました。50年を超える国内の都市と交通に取り組んで得た知見を開発途上国の開発に活かすとともに、途上国の活力を国内につなげる等、双方向での連携をより一層進めてまいります。

急速に変化していく社会に対応するためには、創造的な発想が不可欠です。専門家としての技術を常に磨きながら、新たな技術を柔軟に取り込み、大学や研究機関、地域主体やNPO、民間企業など、幅広いパートナーと連携を強め、付加価値の高いプランニングサービスの提供を通じて地域社会・国際社会への知的貢献が果たせるよう、より一層努めてまいります。



株式会社 アルメック

ALMECは、その都市・その地域がめざす将来ビジョンとその

急速に社会が変化する中で、都市や地域が抱える課題は捉えにくくなっています。

ALMECは、データに基づいた客観的な分析を踏まえ、長年の知見に裏付けられた技術力を駆使し、地区から地域レベルまで、多様な都市課題への具体的な提案を行います。

プランニングに特化する強みと培ったマネジメント力が、よりよいまちづくりを実現します。

地域

都市

地区



#誰もが安
移動できる



#魅力あるまちの将

#駅周辺地区の活性化

#誰もが移動しやすい
交通システム

#共生社会

#コミュニティ主体のまちづくり



#



実現策を提案します。

ALMECが
めざすもの



#活力ある地域づくり

#グローバルな人・ものの移動
を支える交通ネットワーク

#技術の活用による
便利なまち・モビリティ

#災害に強い地域

全・安心に
道づくり

#環境にやさしいまち

来ビジョン



#

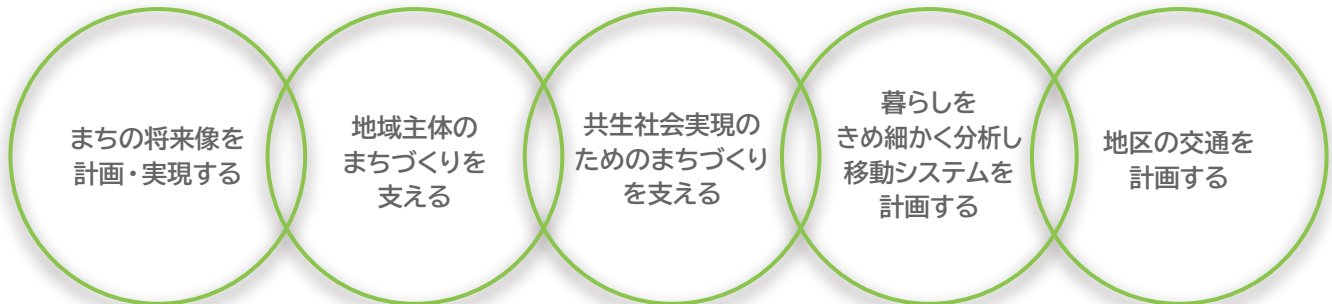
#



国内の ビジネス エリア

都市、交通の分野をはじめ多様な都市課題への対応が必要な時代です。情報・ノウハウ・経験の共有と開拓に努め、プランニング技術とコンサルタント力を活かして、都市全体のマスタープランから地区単位の事業計画まで、幅広い課題解決に取り組んでいきます。

国内の業務で重視する視点



01 都市全体のまちづくり計画



多様な主体、様々な視点で都市づくりを進める時代において、合意形成手法や分析手法の開拓を進め、関係主体が共有するビジョンとして、都市のマスタープランを作成していきます。

- 都市計画マスタープラン
- 立地適正化計画
- 総合計画・基本計画
- 分野別／地区別に特化した計画

02 地区のまちづくり計画



地区に関わる様々な方の意向を踏まえながら、より魅力的で安全・安心なまちの実現に向けた道筋を導き出し、地区のプランを策定します。



- まちづくり構想／方針、土地利用計画
- 中心市街地活性化計画
- 開発計画・建築計画、事業計画
- 防災まちづくり計画・密集市街地整備
- 法制度に基づく整備計画・事業計画
- 都市計画・地区計画決定手続き
- まちづくり協議会運営支援、まちの管理／運営方策

03 地域主体のまちづくり



活動の計画・実践、地域運営組織の構築、エリアマネジメントの企画、まちづくり資金の獲得など、総合的に地域主体のまちづくりを支援します。

- エリアマネジメント
- エリアプラットフォーム
- プレイスメイキング
- 集落や地域の維持／運営

04 観光まちづくり



単なる観光客の増加ではなく、地域が培ってきた歴史・文化などの資源を活かして、持続性のある観光まちづくりを提案、実践していきます。

- 観光振興計画
- 観光まちづくり
- 産業振興計画

05 都市全体の交通計画/公共交通計画



公共交通のマスタープランである「地域公共交通計画」の策定や、コミュニティバスやデマンド型乗合タクシー、新技術を活用したモビリティの実現に関わる計画をお手伝いします。

- 総合交通体系調査
- 地域公共交通計画
- コミュニティバスの事業計画
- BRT (バス高速輸送システム) の事業計画

06 バリアフリー・サイン計画



地域の特性に応じたバリアフリーの実現に向け、障害当事者・高齢者・子育て層など幅広い意見を聴き、ハード・ソフト両面から、法に基づく方針・構想等を支援・作成します。



- 移動等円滑化促進方針
- バリアフリー基本構想
- バリアフリー特定事業計画
- バリアフリー基本構想進捗管理
- 案内サイン等整備計画

07 地区および施設開発に伴う交通計画



“施設”という交通発生源からのきめの細かい調査・分析・協議を通じて都心回帰、大型化、複合化する都市開発等の交通課題に取り組むアプローチを重視しています。

- 大規模開発等に伴う交通計画
- 交通アセスメント
- 交通調査・解析
- 交通協議

08 都市施設計画/設計・建築計画



整備効果が長期に及び社会資本整備を、需要動向や社会変化など将来を見通す広い視点でとらえ、質の高い施設計画・設計に取り組んでいます。

- 道路・交差点計画
- 駅前広場計画
- 公園計画
- 自動車／自転車・バイク駐車場計画
- 自転車走行空間計画
- 建築計画

09 事業評価



透明性をもった正確な費用便益分析によって事業実施の是非、各事業の優位性を評価し、財政制約下での効率的な事業採択、合意形成等を支援します。

- 公共事業新規採択時評価
- 公共事業再評価
- 公共事業事後評価
- 費用対効果分析

10 社会実験・その他



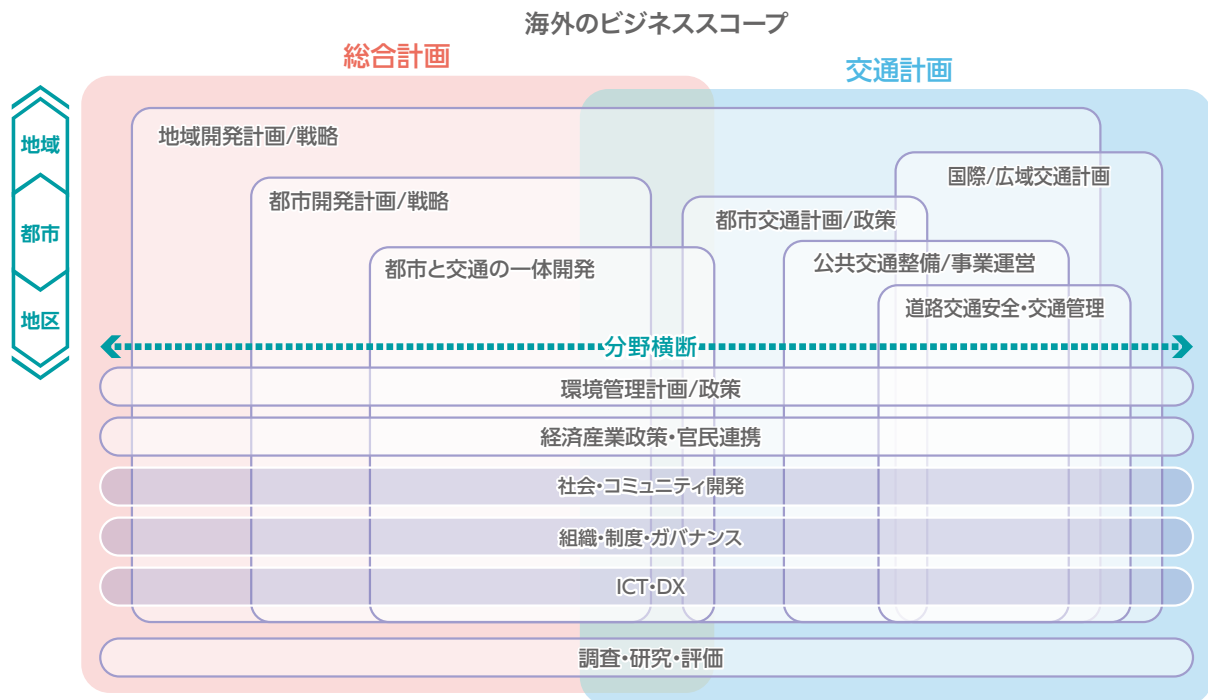
新たな施策を実施するにあたり、その問題課題や効果を前もって把握・共有するため、まちづくりの現場に積極的に参画し、実現に向けて支援します。



- 道路空間の再配分
- モビリティマネジメント (MM)
- モニタリング・事後評価

海外の ビジネス エリア

海外事業部が現場とする開発途上国は、常に変化を続け、時に予測もしない動きをすることがあります。そのような厳しい環境の中でも、関係者との協議を通じ柔軟な対応をしながら、相手国の持続可能な発展に資する政策や計画の提案を行っています。



01 地域開発計画/戦略



大都市への一極集中が加速する中、国全体の持続可能な成長に向けて、各地域の総合的な開発計画や、地方中核都市の振興に取り組めます。



- 社会経済開発計画
- 地域振興計画
- 地域開発戦略

02 都市開発計画/戦略



都市は人、情報、サービスが集まる場所であり、常に変化を求められています。新たな技術による効率性を追求しながらも、そこで暮らし働く人々のニーズに応える都市のビジョンを描き、都市開発を推進します。

- 都市マスタープラン・総合計画
- 持続可能な都市開発戦略
- 都市計画策定能力・都市開発管理能力の向上

03 都市交通計画/政策



慢性的な交通渋滞やそれに伴う経済損失、大気汚染、交通事故等、都市交通に関する諸問題を解決に導く計画づくりを行います。

- 都市全体の交通マスタープラン
- 都市交通政策/計画
- 都市公共交通計画

04 都市と交通の一体開発計画



公共交通を主体としたまちを実現するために、公共交通と連携した都市開発、駅へのアクセス確保、多様な交通手段の連携等、総合的に取り組み、これらを実現する政策や、多様な主体による事業スキームを提案します。

- 鉄道整備と一体となった沿線開発
- TOD (Transit Oriented Development) の整備方針/計画
- 都市開発事業計画
- 交通結節施設整備

05 公共交通整備/事業運営



開発途上国都市にとって欠かすことができない市民の足となる公共交通サービスの提供とその改善策、持続的な事業運営に資する計画づくりや技術指導、組織間連携強化等の提案を行います。



- 公共交通システムのフィージビリティ調査
- バス交通近代化計画/事業運営改善
- マルチモーダルな公共交通ネットワーク
- モビリティ・マネジメント

06 道路交通安全・交通管理



道路交通の安全性や効率性の確保は、途上国共通の課題です。工学・教育・取締り(3Es)等、幅広い専門性、多様な主体との連携、さらに新たな技術の導入を支援しています。

- 交通安全政策/計画
- 交通安全教育・行動変容
- ICTの活用による交通管理

07 国際/広域交通計画



総合的な運輸交通戦略や、それに基づく交通インフラ整備計画の策定支援を通じ、国全体あるいは国境を越えた、多様化する人流と複雑化する物流のスムーズな移動と持続可能な開発を支えます。

- 国境を超えた地域の交通開発戦略
- 国全体の総合的な運輸交通開発計画
- 物流における開発戦略

08 環境管理計画/政策



気候変動の緩和・適応策を独自に取り組むだけでなく、都市地域開発・交通・産業、あらゆる分野における既存の政策や計画に取り込み、効果的な環境政策の提案を行います。



- 環境都市計画
- 低公害車両推進
- 気候変動対応戦略

09 経済産業政策・官民連携



途上国がさらなる成長を進めていくために、限られた公共投資を戦略的かつ効率的な運用を目指した能力強化や、産業振興、民間セクターの競争力強化に向けた施策を構築します。

- 産業振興政策
- サプライチェーン
- 公共投資政策

10 調査・研究・評価



国際社会を取り巻く環境は日々変化する中で、新たな開発課題を捉え、新たな技術を取り込むべく、社内の連携を深め、技術力の研鑽に励んでいます。

- 新たな開発課題に取り組む
- 新たな技術を磨く

ALMEC の取り組み

クライアントとステークホルダー

都市づくり、まちづくりを進めるためには、公共（行政）や民間（企業）、地域（人・団体）などさまざまなステークホルダーとの調整、合意に基づき進めていくことが重要です。アルメックは、創業時からクライアントとの契約上の関係は勿論のこと、様々なステークホルダーとの円滑なコミュニケーションを通じてまちづくりに貢献していくことを重視しています。

公共・民間・地域のそれぞれの立場に寄り添い、また繋いでいくため、確かな技術力を通じてコンサルティングサービスを提供いたします。

多様な働き方の推進

当社では、社員それぞれの状況に合わせた柔軟な勤務形態を導入しています。育児休暇の取得はもちろん、育児中の女性の勤務時間や海外出張については、通勤時間や育児の環境に配慮して個別に設定するようにし、その後、子供の成長に合わせて勤務時間の改定や出張の再開にも対応しています。小学生以下の子供を持つ女性社員は7名在籍（2023年4月現在）し、男性社員も含め、子育てと仕事の両立をするメンバーが多数います。

新型コロナウイルス拡大以降は、在宅勤務も積極的に導入しています。対面でのコミュニケーションを基本としながらも、各人の通勤や住宅環境と業務状況に応じて、在宅勤務を選択できるようにしています。

企業活動と社会貢献

当社ではインターンシップを通じて、コンサルタントに興味を持つ学生への実務経験の場を提供しています。また、自治体の審議会の委員、全国での地域主体のまちづくりのレクチャー、まちづくりに関わるサークル活動の運営など、社員の自主性に任せ、社会貢献活動を推奨しています。

さらに、企業活動で知り得た知見は、論文やセミナーでの研究発表という形で積極的に共有し、社会に還元しています。



SDGsへの取り組み

当社は、得意とする都市・交通分野の取組を通じて、SDGsの実現を目指しています。公共交通を軸とした都市の形成、鉄道やバスへのバリアフリーアクセスの確保、住民が主体となったまちづくり等、総合的な取り組みを通して、誰もが住み続けられるまちづくり（ゴール11）を目指します。近年では、インフラやサービスの供給だけでなく、モビリティマネジメントによる、人々の行動変容にも取り組んでいます。

また、交通安全分野では、工学・取締り・教育の取組からすべての人の健康と福祉（ゴール3）に位置付けられる交通事故の半減への実現を目指します。

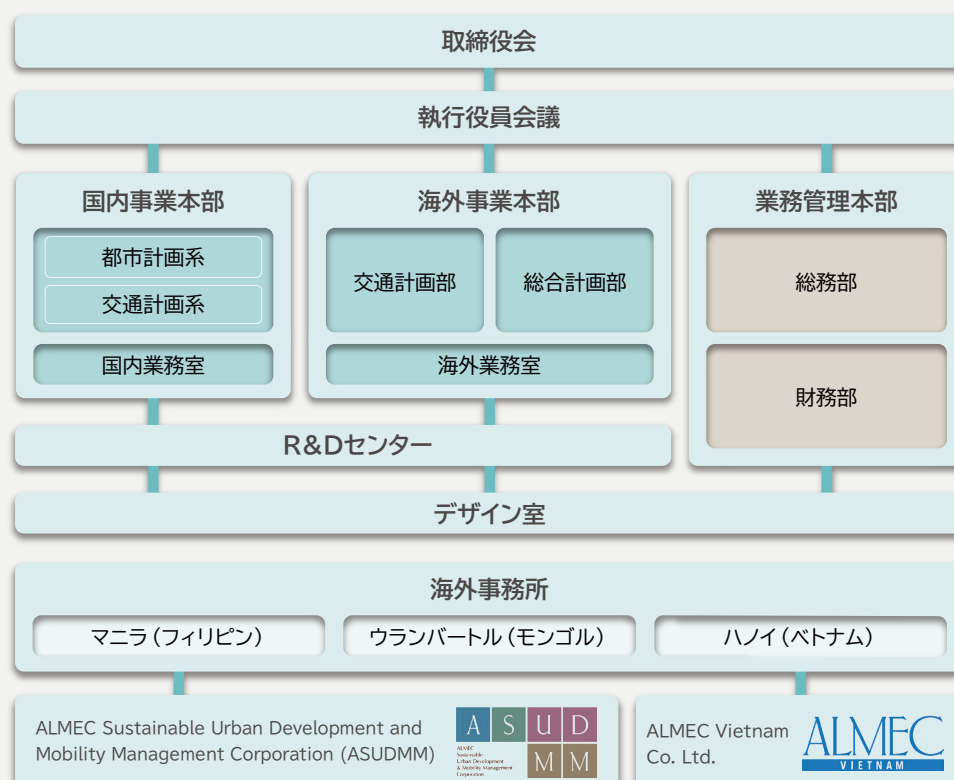
さらに、SDGsをはじめとした国連の掲げる目標の達成に自主的に取り組む企業や団体が参加する、国連グローバルコンパクトに署名し、様々な主体とのパートナーシップ（ゴール17）を通じたSDGsへのさらなる貢献をめざします。



会社概要

社名	株式会社アルメック（英文表記：ALMEC CORPORATION）
創立	1971（昭和46）年10月 設立
資本金	7,000万円
代表者	代表取締役 増島 哲二 代表取締役 石本 潤
登録	建設コンサルタント登録 建04号第3352号（都市計画及び地方計画部門） 建築士事務所登録 一級 東京都知事登録 第63070号
本社	〒160-0022 東京都新宿区新宿五丁目5番3号 電話 03-3353-3200（代表） FAX 03-3353-2411 Eメール hq@almec.co.jp ウェブサイト https://www.almec.co.jp/
海外事務所	マニラ、ハノイ、ウランバートル
会社沿革	1971年10月（株）メガプランニング設立 1972年 4月（株）アレア設立 1979年11月（株）アレアと（株）メガプランニングは合併し（株）アレア・メガ総合計画に商号変更 1980年11月（株）アルメックに商号変更 2006年10月 バリュープランニング・インターナショナル（株）設立 2013年 4月（株）アルメックとバリュープランニング・インターナショナル（株）は合併し（株）アルメックVPIに商号変更 2020年 3月 フィリピン（マニラ）、ベトナム（ハノイ）に現地法人設立 2023年 4月（株）アルメックに商号変更
有資格者	博士 …………… 7名 技術士 …………… 17名 一級建築士 …………… 3名 土地区画整理士 …………… 3名 再開発プランナー …………… 2名 認定都市プランナー …………… 3名

会社組織



- 



Their spirits are alive, and their passions remain.